

「しんのすけPRESS」

— 福岡市議会議員 阿部 真之助 議員活動レポート —

今こそ必要欠くべからざることを考える

1. 現在の福岡市政に必要な欠くべからざる言葉

孔子曰、「良薬苦於口、而利於病。忠言逆於耳、而利於行。湯・武以諤諤而昌、桀・紂以唯唯而亡。」(原文)

孔子曰く、「良薬は口に苦けれども、病に利あり。忠言耳に逆らえども、行いに利あり。湯(とう)・武(ぶ)は諤諤(がくがく)を以て昌(さか)え、桀(けつ)・紂(ちゅう)は唯唯(いい)を以て亡ぶ。」(書き下し文)

孔子先生が言われました。「良薬は口に含めば苦く感じるが、必ず病気に効き目があるものです。忠告は決して耳障りのいいものではないが、それを聞き入れた人の行為は理に適ったものと評価されるものです。湯(殷の最初の王)・武(周の最初の王)の時代は、様々な立場の人々が盛んに意見交換し、お互いを高め合った為に、国家が益々栄えたのである。しかし、桀(夏の最後の王)・紂(殷の最後の王)の時代は、ほとんどの人々や役人が王の顔色を窺い、上からの言葉に頷くだけで、意見さえも言わない状態が放置されたために、国家が滅んだのである。」と。

2. 行政が考えなければならない基本的姿勢

現在の福岡市は、人口増加に伴い、市税収入も増加しているが、それとは逆に国からの交付税等が削減されているという事実から目を逸らすことはできません。現在元気のある福岡市でさえも、あと10年もすれば人口減少が始まると予測されている以上、人口減少を最重要課題として市政運営に真剣に取り組まなければならない。また、その中で市職員に求められるものは、実務能力としてのアカウントビリティ(説明責任)であり、税を扱う側として最低限果たさなければならない責務であると考えます。

市民の方々から要望を受けた時に、市職員は決まって「財源又はお金がありませんので、それはできません(無理です)」と答えることが非常に多いと聞いています。現在は市税収入が増加しているにも拘らず、そういった発言はするべきではなく、「お金はあるが、私たちの経営効率が悪いのでできません。」又は、「様々な事業にきちんとした優先順位をつけられず、本来ならば要望されているところにお金を使うべきだが、昔からある事業を切ることができないでいる。」と、正直かつ正確に説明責任を果たすべきだと考えています。